



口加だより

平成29年4月28日発行
長崎県立口加高等学校
第1号

あやめが丘の窓から

Spring has come.

校長 下釜祐保



今年も春が巡ってきた。春の季節を彩る代表は、やっぱり桜だろう。今年、入学式の日には満開のときを揃え、文字どおり新入生に花を添えてくれた。当日はあいにくの天気ではあったが、季節のいたずらが、真新しい制服に身を包んだ新入生達の希望に満ちた笑顔をいつそう輝かせてくれたように思う。

今年の1年生は、例年と違うところがいくつかある。

まず1つは、普通科グローバルコースが始動したこと。長い歴史を有する本校ではあるが、新しい時代の要請に応える、新しい教育力が問われることになる。新入生に似た、期待と不安が交差する不思議な気魄を実感する年度のスタートとなった。

2つ目は、入学式の翌日から諫早青少年自然の家に出かけて、早々に新入生宿泊研修が行われたことである。初日の出発時に見せていた緊張や不安は、同じ釜の飯を食べ、一緒に風呂に入り、枕を並べて寝る中で次第に払拭され、ともに大声を出して校歌を歌い、集団行動を繰り返すことで若者らしい順応さで友情が芽生えていった。初めは名前も知らぬ級友ではあったが、時間とともに自然に話しが弾み、最終日には、口加高生としての自覚と誇りある自分自身と信頼の友を両手に下山した。タイトル“Spring has come”は、文法的には“have＋過去分詞”の現在完了形だから、「春は、既に来ている」という訳になるが、この研修を経験したことで「1年生も、既に口加生になっている」ことを実感した。

「青雲（あおぐも）の輝よう」この菖蒲ヶ丘は、2万を超える青春が駆け抜けていった若者の聖地である。今年もまた、1年生を含む若者達に、多くの感動を与えてくれるのだろう。それが楽しみだ。

入学式では、新入生のみならず口加の若者全員に、しっかりとした「志」を持って、熱ある青年期を送って欲しいと話した。

季節は初夏へ。まさに百花繚乱。野山には勢いに満ち、咲き誇る花美し。口加の若者も同じだ。百人に百の夢があり、千人に千の人生がある。菖蒲ヶ丘に立つ若人たちがそれぞれの夢実現に熱くエネルギーを燃やす高校生活であることを願う。



学年だより

～第1学年主任挨拶～

今年度、1学年主任となりました平山と申します。赴任したばかりで、右も左もわからないという点では新入生と同じかもしれません。ただそうばかりも言ってられませんので、一刻も早く口加高校の一員として多くのことを吸収し、生徒に少しでも多くのことを伝えることができるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

入学式からスタートした新しい生活も、翌日からの合宿、各種検診や新体力テスト、歓迎遠足など次から次へと行事が続き、なかなか落ち着かない毎日だと思います。しかし、そのような生活の中でも生徒は次第に学校に慣れ、自分らしさを発揮する場面が出てきている様子にたくましさを感じます。高校生としてより一層の成長を期待しています。そのためにも年度当初からテーマとして掲げている「時を守り 場を清め 礼を正す」(森信三氏)生活の中でけじめある生活と個性の伸長を手伝うことができるよう学年団全員で協力していきたいと考えています。

(1学年主任 平山陽一)

～第2学年主任挨拶～

昨年度から引き続き、学年主任を任されることになりました松本です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。さて、新2年生となり新しいクラスでの学校生活が始まりましたが、お子様の様子はどうか？新しい環境に慣れるために脳みそフル回転だと思います。大変だと思いますが、多くのことを考え悩み、それを乗り越えていけるように成長してもらえればと思います。

今年の2年生の目標は、昨年に引き続き「一生懸命」と「良い反応」そして新たに「**バランス感覚**」です。昨年度3月の口加便りにも書かせてもらいましたが、真ん中の立場というものが一番難しいです。例を挙げればキリがないですが、感覚的に“ちょうどいい”と思える言動を心がけて欲しいです。ただし、真ん中はサンドイッチのようにおいしいところでもあります。きついことも楽しみ、明るく元気に学校生活を送れるように2学年団一同頑張りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(2学年主任 松本辰哉)

～第3学年主任挨拶～

新しく3年生の学年主任となりました、山内と申します。第70回生の全員と1年間を共に歩めることを心から嬉しく思います。

さて、4月10日(月)に平成29年度の始業式が行われ、口加高校での集大成となる1年間の幕が上がりました。今年の最終的な目標は、何と言っても『進路実現』です。これまでにない緊張感や不安の中で、全国のライバルと戦わなければなりません。『絶対に負けられない戦い』に勝ち、自らの希望進路を達成する。まずは、その覚悟をしっかりと自分自身で確認してください。さらに、今過ごしている1日も二度と戻ってこない口加高校での最後の1日です。ですから、**今日の最高を、明日の最低に！**毎日、皆さんのキラリと輝く姿をたくさん見せてください。

最後に、今年度のキーワードは、**挑戦**です。常にチャレンジ精神を持って、困難な壁に真正面からぶつかって新たな道を切り拓こう。“顔晴ろう”、**Ambitious 70th!!**

保護者の皆様におかれましても、この1年間は、進路面で色々としんどいと思われれるかと思いますが、学年スタッフ10名共に力を合わせて、全力でお子様をサポートさせていただきますので、どうぞご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

(3学年主任 山内徹)

新転任者紹介



2列目 森田 山本将 大窄 寺田 村岡 磯口 松本雅 中村里
最前列 平山 岩村 市丸教頭 校長 中村啓 堀口 山本文

【一言挨拶】

- 市丸教頭先生（家庭）「南島原市をさるいて、人・風土・自然にふれ馴染んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。」
- 中村啓事務長「西彼杵高校から転任してきました。以前島原市に5年間いましたので、島原半島は2回目です。よろしくお願いします。」
- 山本文先生（物理）「前任校で物理をやっていました。十数年ぶりの化学で、再任用の老体ですが、新採の気持ちで取り組ませていただきます」
- 堀口先生（日本史）「島原翔南高校からきました。早く口加高校になれて頑張りたいと思います。」
- 中村里先生（国語）「一人ひとりとしっかりと向き合っていきたいと思います。よろしくお願いします。」
- 平山先生（保健体育）「口加生との関わりの中で毎日が新鮮で楽しく過ごせています。」
- 村岡先生（英語）「長崎工業から来ました。まだ慣れないことばかりですが、共に学んでいきましょう。」
- 森田先生（福祉）「生徒のみなさんと一緒に学び、共に成長していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。」
- 岩村先生（国語）「みなさんと一緒に頑張っていきたいです。よろしくお願いします！」
- 寺田先生（数学）「皆さんと楽しく学べることを目指して頑張ります。よろしくお願いします！」
- 大窄先生（英語）「全力で口加の力になるようがんばります。よろしくお願いします。」
- 山本将先生（数学）「諫早高校から来ました、山本将平と申します。元気に楽しく、みなさんと勉強していきたいと思っています！」
- 磯口先生（国語）「『共に学び、成長する』を目標に頑張ります。よろしくお願いします。」
- 松本雅先生（養護）「国見高校から来ました。早く皆さんの顔と名前を覚えたいと思います。」
- 樋口先生（美術）「沢山の生徒の皆さんとの出会いを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。」
- 荒木先生（家庭）「何事にも一生懸命に取り組み、生徒と一緒に成長していきたいと思います。よろしくお願いします。」

今月のグローバルコース

4月10日の入学式で新コース設置宣言を受けグローバルコースがスタートしました。コースのテーマでもある『国際的な視野で考え、故郷を愛し故郷に貢献できる人材や、故郷から学び、故郷を理解し、国際的な貢献ができる人材』を目指して、様々な体験学習にチャレンジしていきます。

4月18日には総合的な学習の時間に島原半島ジオパークの大野希一先生より、香港の学生との交流会（6月25日実施予定）について、説明がありました。



入学式

4月10日(月)入学式が執り行われました。第72回生となる96名が本校生徒として仲間入りし、入学生代表挨拶を1-2山本迅君が立派に務めました。



生活創造コース集会

4月20日(木)に生創コース集会を行いました。今年度は、3年生3名、2年生6名の計9名で活動していきます。様々な活動や行事等コース一丸となって頑張ります！！



1学年宿泊訓練

4月11日(火)より2泊3日の日程で、諫早青少年自然の家で宿泊訓練を行いました。1年生は入学式の翌日から始まったこの訓練に緊張した面持ちで挑みました。集団生活における大切な規律や、生活リズムを徹底し過ごした3日間でしたが、最終日には引き締まった表情と言動に職員一同、頼もしく感じました。



歓迎遠足

4月21日(金)歓迎遠足がありました。毎年恒例のレクリエーションの綱引きを始め、3年生有志による歓迎出し物や、新転任職員によるパフォーマンス等、とても楽しい、そして有意義な時間となりました。綱引きの優勝クラスは・・・2-2！！圧勝でした！！おめでとうございます！



職員ペンリレー

久部 利恵子先生（家庭科）

人間の赤ちゃんは、他の動物と違い、1年近くもの長い間母親の胎内に宿ります。そして、脳や体の細胞をしっかりとつくり、この世に誕生してきます。そのおかげで、人間は、物事を深く考えることができ、“情操”という感情を持つことが可能になるそうです。例えば、美しいものを見て、「美しいなあ」と言うような心のありかたが、“情操”です。同じ感情を表す言葉に、“情緒”もありますが、これらの違いは、“情緒”は喜怒哀楽を表した一時的な感情であるのに対し、“情操”はいつになってもその人の心の中にあって変わらない感情であるということです。美しいものや素晴らしいものに出会うと感動したり、温かい心になったりするのは、人間であるからこそその感情なのだと思うと、改めて“情操”の大切さを感じます。そして、ぜひ“情操豊かな人”でありたいものです。